



山桜

高階西中だより 第31号 (卒業式特別号)
平成28年 3月15日

川越市立高階西中学校

集大成の「最好」学年 本当にありがとう!!

～第30回卒業式挙行。卒業生98名の幸せを祈ります。～

校長 長井正邦

3月15日本校体育館において、第30回卒業式を挙行了しました。式は、国歌・校歌斉唱で始まり、多数の御来賓・保護者の方々・在校生・教職員が見守る厳粛な雰囲気の中、卒業証書の授与を



を行いました。卒業生は、登壇後担任から一人一人呼名を受け、凜とした声で返事をしてから証書を受け取りました。呼名に対する一人一人の返事は、中学校三年間を真剣に取り組んできた自信と誇りに満ちた素晴らしいものでした。校長の式辞、川越市教育委員会や川越市、PTA会長等御来賓からのお祝い言葉や記念品贈呈等について、在校生代表の生徒会長(2年)から、今まで卒業生に受けた数々の指導や助言への感謝とともに

先輩方の夢や希望が実現しますように心から願っています。私たち在校生は、「西中で希望の花を咲かせよう。」のスローガンのもと日々努力していきます。

という送ることばが述べられました。それに応えて、卒業生を代表して前生徒会長(3年2組)が、学校で過ごした三年間の思い出や教職員・保護者への感謝の気持ち、旅立ちにふさわしい決意等を別れのことばとして堂々と述べてくれました。

私たちは一人一人自分で選んだ道へと進み始めます。道は、決して平坦なものではないでしょう。しかし、仲間との別れを悲しむばかりでなく、希望を持って歩んでいきたいと思えます。(略)在校生の皆さん、今までありがとうございました。これからは、皆さんが高階西中学校の顔となります。高階西中学校では、これまで洗心無言清掃や全校エイサーの披露といったことに取り組んできました。それらの伝統を引き継ぎ、仲間と共にさらに素晴らしい高階西中学校を創っていきましょう。そして、仲間と共にかげがえのない思い出をたくさんつくってください。

続いて、卒業生全員で「旅立ちの日に」を歌うころには、目頭を押さえる卒業生の姿も多く見られました。卒業生保護者代表の方から、子供たちの成長を喜ぶ気持ちや関係者への御礼等とともに、

皆さんは明日からそれぞれの道を進んでいきます。その礎を高階西中学校で培ってきたのです。皆さんがさらなる輝きを放ち、自信に満ちた人生を送ることこそが今まで支えてきてくださった方々への恩返しとなります。自分の信じた道を自分の足でしっかりと歩いてほしいと願っています。私たち保護者は、子供たちの健やかな成長を願い、子供たちを信じて見守り続けたいと思えます。

という卒業生へのメッセージがありました。最後に、卒業生・在校生全員で「郷愁歌」を歌い、拍手に送られて卒業生が式場を後にしました。

式後、各教室での「最後の学活」でクラスメートや担任との別れを惜しみながらも将来への希望を胸に、在校生や保護者の方々・教職員に見送られて「ふるさと 高階西中学校」を後にしました。

98名の卒業にあたり、日頃から本校の教育活動に多大なる御理解御協力をいただいた皆様に改めて御礼を申し上げます。そして、98名の卒業生の皆さんの今後の活躍を期待しています。



証書には高階西中学校卒業生名簿にその名が刻まれたことを示す「3701~3798」の数字。



先輩たちの意思を、必ず引き継ぐことを約束します。在校生代表のことは



自分で選んだ道をしっかりと歩んでいきます。後輩の皆さん、後を託します。卒業生代表のことは



永く語り継がれることになるであろう素晴らしい合唱
卒業生合唱「旅立ちの日に」



卒業生をいつまでも応援しています。三年職員



門出式 3組



門出式 2組



門出式 1組

三年間の活躍を讃えて!!		(順不同・敬称略)
◆埼玉県優良生徒表彰	2組 男子	
◆埼玉県産業教育振興会長賞	3組 女子	
◆埼玉県体育優良生徒表彰	3組 男子	
〃	3組 女子	
◆川越市体育表彰	2組 男子	
〃	1組 女子	

校長の式辞 (一部)

卒業生の皆さんは、自分達の「無限大(infinity)」の可能性を信じて、一人一人のよさを生かしながら「輝き」、仲間と「夢」を語り合い、立派な学校生活を送ってきました。体育祭・合唱コンクール・山桜祭等の行事、部活動やエッセイ、そして何より「日ごろの学校生活」で「高階西中生のあるべき姿」を示してくれました。「集大成の“最好”学年」にふさわしい姿でした。そして、いまここに「翼」をひろげ、立派に羽ばたこうとしています。本当にありがとうございました。

在校生の皆さん、卒業生が創りあげた本校の良き伝統を引き継ぎ、卒業生が今以上に胸を張って誇れる高階西中学校となるように「時を守り 場を清め 礼を正す」という意識を一層高め、一人一人が輝く学校を創りあげていく決意をしてください。そのことが、卒業生への何よりもものはなむけとなります。

この機会に、卒業生の皆さんに、私が日頃考えていることをお話します。

高階の里には、様々な花が咲きます。花は様々で小さい花も大きい花もあります。春咲く花もあれば、夏・秋・厳しい寒さの冬に咲く花もあります。小さい花は小さいなりに、大きい花は大きいなりに、可憐な彩り、絢爛な装いで、力一杯に咲き誇ります。花はそれぞれにその花の持ち味を生かして咲き誇ります。「百花繚乱」花は咲き誇ります。この自然の摂理は、人も同じです。自分でなければ咲かせることのできない花を、自分らしく咲き誇らせることが大切です。自分の花を咲かせるためには、しっかりと志を立てることが必要です。本気になって、真剣に取り組めるような志を立てましょう。生命(いのち)をかけるほど熱くなれる志を立てましょう。自分のためになる、あるいは他人のためになる、地域社会のためになる志を立てましょう。そして、自分の夢に向かって邁進してください。皆さんなら必ずできます。期待しています。

しかし、皆さんが志を立てて夢に向かって邁進していく社会には、辛いことや苦しいこともあります。時には道を見失ったり挫折を味わったりすることもあるでしょう。そんな時は、いつでも高階西中学校を訪ねてきてください。

「学校は故郷(ふるさと)」です。同じ地域で育った同じ年代の子供たちが集い、一緒に学び合う場所です。いつまでも絶えることのない人間的なつながりが生まれる場所です。卒業してそれぞれに違う道を歩んでいても「集まりたいな」と思えるようなつながりがあります。辛い時や苦しい時はいつでも訪ねてきてください。皆さんを温かく迎え入れます。

98名の卒業生の皆さんの前途が洋々たるものであることを祈っています。

【一・二年生の皆さんへ】卒業式の準備・当日の態度や合唱等、本当に立派な取組でした。ありがとう。